



**平成27年3月期第3四半期
決算説明資料**

名鉄運輸株式会社

2015年2月6日

■ 連結損益計算書

≪ 連結子会社数：20社（前期末比 △1社）

持分法適用会社数：1社（前期末比 -社）≫

（ ）は増減率

（単位：百万円、％）

	当第3四半期	前第3四半期	増減	(対前期)
売上高	68,768	69,935	△1,167 (△1.7)	貨物△919 航空△240 流通△56 その他+15
売上原価	63,898	64,854	△956	運送委託料減少
売上総利益	4,870	5,081	△211	貨物△184 流通△56 航空+12 その他+10
販売費及び一般管理費	2,674	2,739	△65	人件費減少
営業利益	2,195	2,341	△146 (△6.2)	
経常利益	2,252	2,322	△70 (△3.0)	営業外収益+27 営業外費用△47
四半期純利益	1,439	1,368	70 (5.1)	

売上高は、連結子会社数が1社減少したことに加え、消費増税による駆け込み反動減により減収。

営業利益は、運送委託料等の経費削減に努めたものの減益。

経常利益は、有利子負債の削減により支払利息が減少したものの減益。

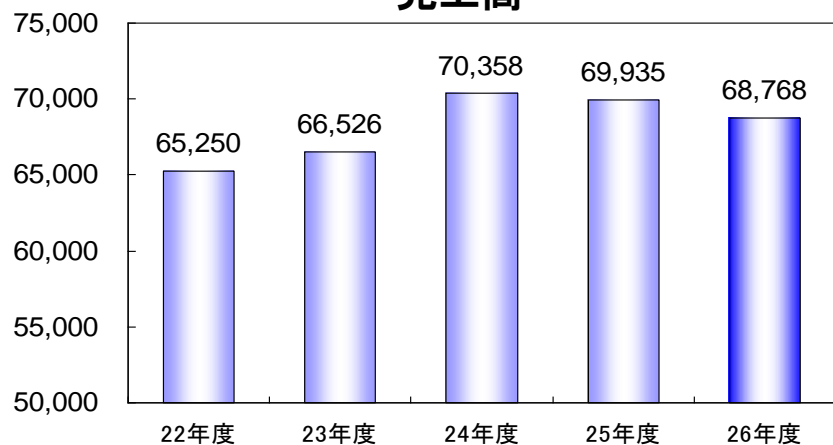
四半期純利益は、投資有価証券売却益等により増益。

■ 連結業績の推移

第3四半期

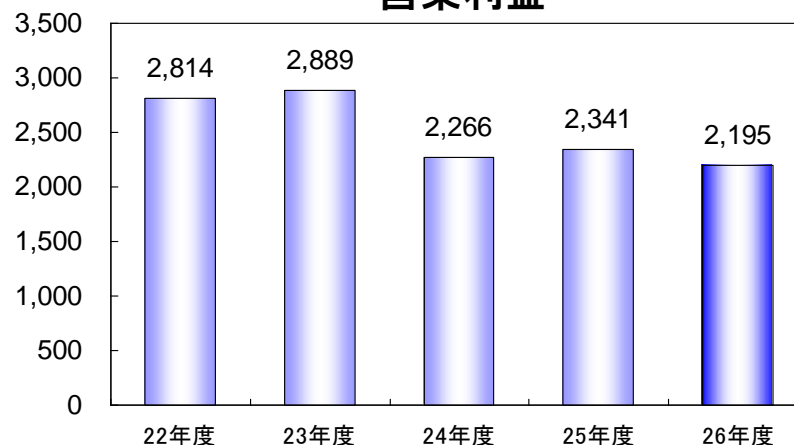
(単位：百万円)

売上高



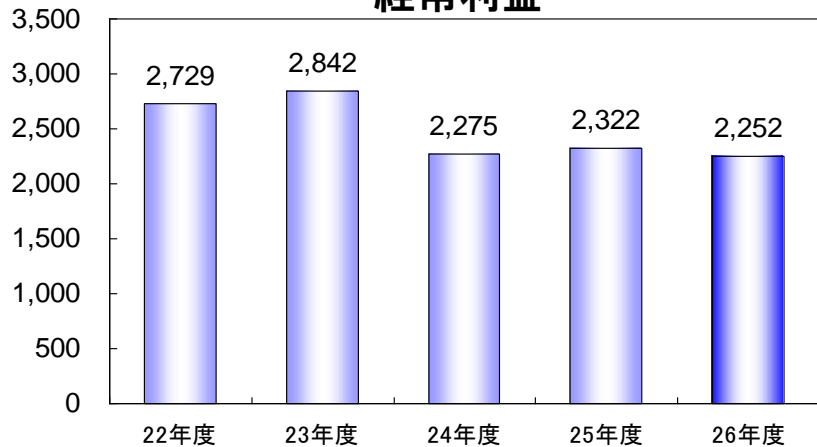
2期連続減収

営業利益



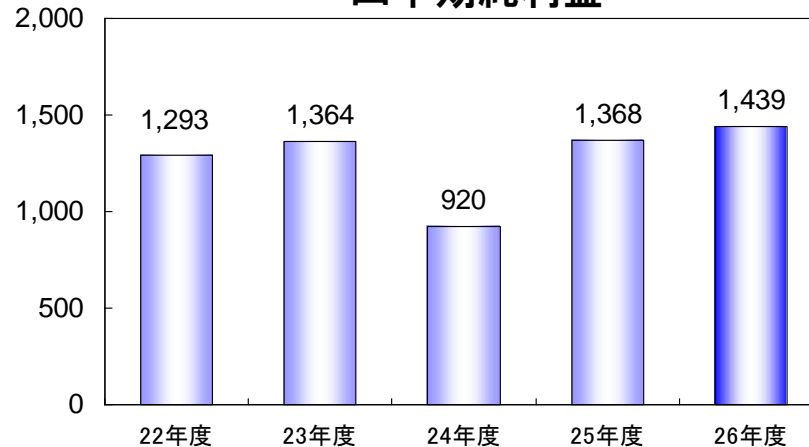
2期ぶり減益

経常利益



2期ぶり減益

四半期純利益



2期連続増益

■セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

売上高	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	コメント
貨物自動車運送事業	61,131	62,051	△919	△1.5	連結子会社数が1社減少したことに加え、消費増税による駆込み反動減等により減収
航空利用運送事業	5,697	5,938	△240	△4.1	消費増税による駆込み反動減等により減収
流通事業	3,151	3,207	△56	△1.8	消費増税による駆込み反動減等により減収
その他	127	111	15	14.4	不動産賃貸の新規契約により増収
調整額	△1,339	△1,372	33	—	
合計	68,768	69,935	△1,167	△1.7	

売上総利益	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	コメント
貨物自動車運送事業	4,099	4,284	△184	△4.3	運送委託料が減少したが、減収分を吸収できず減益
航空利用運送事業	455	442	12	2.8	運送委託料等の経費削減により増益
流通事業	285	341	△56	△16.4	運送委託料等の増加により減益
その他	97	86	10	12.0	
調整額	△67	△74	6	—	
合計	4,870	5,081	△211	△4.2	

■連結貸借対照表

(単位：百万円)

		当第3四半期	前期末	増減額	コメント
資	流動資産	16,682	14,963	1,719	受取手形等の増加
	固定資産	65,167	65,016	151	
	有形固定資産	58,171	58,151	19	
	無形固定資産	1,407	858	548	設備投資による増加
	投資その他の資産	5,588	6,006	△417	投資有価証券売却による減少
資産合計		81,850	79,979	1,871	
負	流動負債	36,762	34,383	2,379	未払費用等の増加
	固定負債	30,612	32,644	△2,032	長期借入金の短期への振替による減少
	負債合計	67,375	67,028	346	
純資産合計		14,475	12,951	1,524	四半期純利益+1,439 退職給付に係る調整累計額+484 剰余金の配当△121 退職給付会計基準変更△292 ほか
負債純資産合計		81,850	79,979	1,871	
連結有利子負債合計		35,914	39,434	△3,520	資金効率改善による減少

■平成27年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	26年度予想	25年度	増減額	コメント
売上高	91,000	92,852	△1,852	連結子会社数が1社減少したことに加え、消費増税による駆け込み反動減により減収
営業利益	1,800	2,498	△698	
経常利益	1,700	2,486	△786	
当期純利益	900	1,311	△411	

当第3四半期連結累計期間の業績については、昨今の燃料価格の下落や経費の削減を進めたことなどにより、当初の見込みを上回っているが、通期の業績予想は、今後の景気動向などを勘案して現在精査中であるため、現時点では連結業績・個別業績ともに平成26年5月9日に公表した業績予想から変更しない。



業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。